平成 24 年６月 16 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 24 年５月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年５月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	53	45.0%	28.3%	△63.0%
半導体分野	31	26.1%	17.4%	△12.4%
太陽電池分野	0	0.0%	―	―
その他	34	28.9%	△28.3%	―
合計	119	100.0%	2.4%	△34.2%

２．月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
ＦＰＤ分野	156	188	159	168	113	71
半導体分野	35	28	34	21	46	35
太陽電池分野	0	0	0	0	1	0
その他	1	0	2	0	1	1
合計	194	217	196	191	162	109

区分	12 月	H24.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
ＦＰＤ分野	51	44	16	26	41	53
半導体分野	35	31	39	34	26	31
太陽電池分野	0	0	0	0	0	0
その他	5	48	51	48	48	34
合計	92	123	107	109	116	119

３．月次受注残高の概況

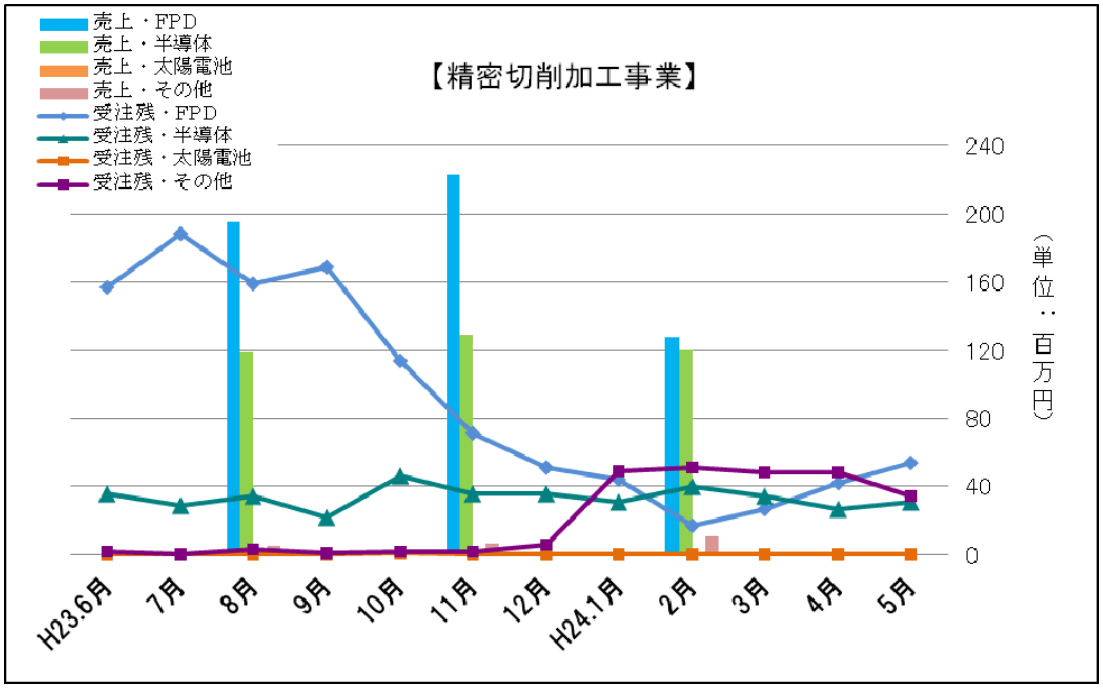
平成 24 年５月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において受注及び出荷検収が比較的順調に進むなど回復傾向であることから、対前月増減率で 28.3%増、対前年同月増減率では 63.0%減の 53 百万円となりました。また、半導体分野においては、出荷検収は若干低調ながらも受注が堅調に推移し、対前月増減率 17.4%増、対前年同月増減率 12.4%減の 31 百万円となりました。一方、その他分野においては受注済みだった原子力分野の案件の出荷検収が始まったことと、新規の受注が横ばいで推移したことから、対前月増減率 28.3%減の 34 百万円となりました。なお、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、平成 24 年５月末の受注残高は、対前月増減率 2.4%増、対前年同月増減率 34.2%減の 119 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、中小型パネル向け製造装置の投資計画が具体化し始めており、近日中に当社の受注も増加し始める見通しを持っております。半導体分野においては、従来顧客からの受注は市場の低迷に伴って若干停滞気味に推移しながらも、新規顧客からの試作品受注が増加しており、試作の成否によっては拡大する可能性があります。太陽電池分野においては、薄膜シリコン系の装置部品で試作受注が続く見通しです。また、その他分野では、生産能力の余力を活用し受注の安定化を図っております。

全般的には、市場環境の停滞が続いておりますが、当社では社内生産力を試作品と短納期品に活用し、新規部品の受注拡大を図っております。また、社内生産力でまかなえない受注の拡大には協力企業との取引拡大で対応するなど、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。